



# 瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/setogaya/

学校だより 10月号  
令和元年9月30日  
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校  
校長 横張 由香子  
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

## 台風一過

校長 横張 由香子

秋晴れの9月24日、まだ暑さが残る日でしたが、全校オリエンテーリングが児童遊園地で予定通りに実施されました。なかよし委員会の児童が司会・運営に当たり、4～6年生がクラスで工夫してポイントでのゲームを考えみんなを楽しませます。なかよし班は1年生から6年生まで入った縦割りグループです。前日と当日朝には職員が児童遊園地に行って、台風の影響を確認、ところどころに倒木があり、ポイントの場所を少し移動しました。当日はPTA広報委員さんが撮影とともに交通安全の見守りにも参加してくださいました。

先日の台風15号の影響で、月曜日は休校となりました。職員も、朝、五時過ぎには家を出た者、家の周りの鉄道はもちろん、道路も封鎖され、翌日まで身動きが取れなかった者、自宅の停電が続き、身の回りのことが思うようにできなくなっていた者など様々な状況でした。JRの計画運休は、単に列車が止まるということではなく、いつもとは違う状況になるということに初めて思いが至りました。当日は、給食物資の納入や、調理員の確保も難しい状態でした。保土ヶ谷区内の小学校でも停電が月曜日の夕方まで続き、クーラーの効かない学校で、パソコンも立ち上がらず、電話もかかからなかったところもありました。その学校の近くではコンビニも停電で臨時休業。テレビで台風被害の映像は何度も見ていましたが、画面から受け取っていた大変さは、現地の方々の思いには遠く及ばないものだったと感じました。今も、まだ復旧できず不安で不自由な生活をされている方に、一日も早く平穏な生活に戻りますよう祈っております。

また、児童の登校時に不安がある場合は、登校を見合わせていただけますよう改めてお願い致します。メール配信でのお知らせは、緊急時に届かないことも経験しています。暴風警報等による休校については各家庭で確認していただくことになっています。今後ともよろしく願いいたします。

9月の瀬戸ヶ谷小学校地域防災会議で資源循環局の方からお話を伺う機会がありました。横浜市内の被害のあった地域へ、資源循環局の市内他地区から資源回収やごみ収集の応援に行ったそうです。その際、スムーズに進んだ要因の一つが、分別がきちんと行われていたことによるということです。被災している時でさえ、分別が行われていたことは驚きでしたが、それが生活の質を早く回復させるということにつながることを初めて知り、さらに驚きでした。災害は多くの場合「想定外」の出来事であり、ほとんどの人にとっては「初体験」です。そんな時に自分にできること、その時のためにやっておくことについて、これまでも聞き及んでいますが、改めて見直そうと考えながら帰途につきました。

台風一過とは台風が通り過ぎた後良い天気になることですが、子どもの頃「台風一家」は、サザエさんの家族のようににぎやかな家族のことを言うと思っていました。台風ですっかり倒れていた、校舎裏のフェンスの隙間に植えられていた百日草が、だんだん起き上がってきました。じっくりエネルギーを貯めて立ち上がるそんな姿に、元気をもらっています。